

第1回日本デジタル医学会年次学術大会スケジュール

Day1:10月18日(土)

時間	第1会場:Room301	時間	第2会場:Room302	時間	第3会場:Room304
9:00-9:50	開会のご挨拶・大会長特別講演 「新しい技術は、私達をどこへ連れて行くのか」 座長:磯部 陽(国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授) 演者:黒木 春郎(医療法人社団嗣業の会 理事長 こどもとおとなのクリニック パウルーム 院長)				
10:00-10:50	基調講演1 「日本医師会が構想する医療DX」 座長:黒木 春郎(医療法人社団嗣業の会 理事長 こどもとおとなのクリニック パウルーム 院長) 演者:長島 公之(日本医師会 常任理事)	10:00-10:50	シンポジウム1 「Next Generation Symposium」 座長:井上 祥(横浜市立大学共創イノベーションセンター、株式会社GENOVA、京都大学) 三澤 園子(東京科学大学脳神経病態学分野教授) 演者:岩瀬 すみれ(横浜市立大学医学部医学科5年、みらいアントレ医学部!!プロデューサー) 木村 怜央(三重大学医学部医学科3年、株式会社Vivixy代表取締役) 長岡 英史(東海大学医学部医学科5年、リンギ株式会社代表取締役)	10:00-11:30	一般演題:AI活用 ①AI模擬患者の日米英比較 演者:伊藤 美奈子(早稲田大学 東京女子大学 共同大学院 先端生命医科学専攻(宮田研究室、一般社団法人日本医療面接訓練評価センター 理事)) ②YOLO11x-segを用いた汎用性の高い神経腫瘍セグメンテーションAIの検討 演者:竹田 悠馬(新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科) ③術前MRI画像を用いた深層学習による低悪性度神経腫瘍の分類手法の検討 演者:菅 将瑛(新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科) ④Low-Rank Adaptationを用いたVision Language Modelによるマンモグラムの放射線科レポート自動作成の初期検討 演者:甲斐 千遥(藤田医科大学医療科学部研究推進ユニット知能情報工学分野) ⑤若手医師が牽引する医療現場変革:生成 AI 使用率 1 割から 8 割への半年間プログラム 演者:岡本 賢(国立成育医療研究センター 教育研修センター 小児科レジデント) ⑥デジタルバイオマーカーに基づくAIの検討ーリウマチ及び術後管理のデジタルバイオマーカーを事例に 演者:湊 和修(株式会社テックドクター 代表取締役)
11:00-11:50	国際シンポジウム1 「サイバーセキュリティ対策の世界の潮流と我が国の課題」 座長:宮田 俊男(医療法人社団DEN 理事長、早稲田大学研究院客員教授) 演者:Denise Anderson (President and CEO of the Health Information Sharing and Analysis Center) 江原 悠介 (一般社団法人ヘルスケアISACJapan 事務局長、PwCJapan有限責任監査法人ディレクター)	11:00-11:50	シンポジウム2 「急性期～慢性期までの遠隔医療の実践ヒトとテクノロジーの融合について」 座長:高木 俊介(横浜市立大学附属病院 集中治療部 准教授・部長) 演者:松田 淳 (KPMGヘルスケア代表)、夏井 淳一 (パースビュー 株式会社) 田中 正視(CROSS SYNC 執行役員 研究推進部部长)		ランチョン:医療ブロックチェーン研究会 「エストニアのe-Healthに学ぶ」 演者:須原 誠(青山学院大学SDGs/CE/パートナーシップ研究所特別研究員) 「非匿名化医療情報を生成AIに活用する方法」 演者:森岡 康一(AIBTRUST株式会社 代表取締役)
		12:00-12:50	ランチョン:TOPPAN株式会社 「医師の働き方改革を加速する医療 DX 〓説明支援サービス DICTOR 活用事例」 座長:磯部 陽(国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授) 演者:渡邊 祐介(北海道大学病院 臨床研究開発センター長補佐・特任講師) 鈴木 紳祐(藤沢湘南台病院 病院長)	12:00-12:50	
13:00-13:50	基調講演2 「デジタル医学への期待」 座長:磯部 陽(国際医療福祉大学 臨床医学研究センター教授) 演者:鈴木 康裕(国際医療福祉大学 学長)	13:00-13:50	シンポジウム3 「デジタルヘルススタートアップが変える医療現場」 座長:中安 杏奈(一般社団法人Japan Healthcare Innovation Hub代表理事/ Globis Capital Partners) 演者:山田 裕揮(株式会社Mediii代表取締役医師) 武川 大輝(emol株式会社 代表取締役COO)	13:00-14:30	一般演題:情報処理・解析 ①効率的なデータ転送を目指したColor Fuzzing×QR® の取り組み 演者:中村 明央(昭和医科大学総合情報管理センター) ②炎症性腸疾患(IBD)患者におけるShared Decision Making(SDM)関与因子の探索的分析ーWebベース患者調査による検討 演者:豊島 久雄(日本経済大学大学院 ファーマシーマネジメント研究所) ③レセプトデータを用いた高額医療費患者の5年間医療費推移パターンの類型化 演者:松尾 陽子(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科) ④特定健診・レセプトデータによる労働者の生活習慣の類型化と睡眠改善対策 演者:岸 知輝(杏林大学保健学部看護学科) ⑤高齢労働者のレセプトデータにElectronic Frailty Index(eFI)を適用したフレイル傾向の検討 演者:佐藤 智絵(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
13:50-15:00	特別シンポジウム1 「デジタル医学領域の臨床現場での実用化の最前線」 座長:高江 慎一(前厚生労働省医療機器審査管理課長、消費者庁食品衛生基準審査課長) 任 和子(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、日本看護協会副会長) 演者:宮田 俊男(医療法人社団DEN 理事長、早稲田大学研究院客員教授) 瀬尾 拓史(株式会社サイアメント) 川上 祐子(京都府立医科大学医学部看護学科講師)				
15:00-16:20	特別シンポジウム2 「デジタル技術は医療をどう変えるのか？」 座長:黒木 春郎(医療法人社団嗣業の会 理事長 こどもとおとなのクリニックパウルーム 院長) 井上 祥(横浜市立大学共創イノベーションセンター、株式会社GENOVA、京都大学) 演者:南學 正臣(東京大学 医学部長医学研究科長) 迫井 正深(厚生労働省 厚生労働医務技監) 森井 大一(日医総研 主席研究員)	15:00-15:50	企業協賛:mappin株式会社 「医療現場のDX化による課題解決」 座長:高瀬 義昌(医療法人社団 至高会 たかせクリニック 理事長) 演者:北城 雅照(医療法人社団円徳 理事長)	14:30-16:00	一般演題:デジタルセンシング・モニタリング ①電力データを用いた生活周期の解析と予測モデル構築のための基礎検討 演者:手塚 麻実(奈良女子大学大学院) ②スマートデバイスによる労働者のリフレッシュ効果の評価 演者:兼田 悠(星薬科大学 医療データサイエンス研究室博士課程) ③新たな計測技術としてのWi-Fiセンシングによる睡眠モニタリング 演者:木暮 祐一(名城大学人間健康学部健康情報学科 教授/博士(工学)) ④WLQとウェアラブル生理指標に基づく職場での抑うつ傾向推定 演者:鈴木 宏明(東京都立大学大学院 電子情報システム工学域 修士課程2年) ⑤超高齢社会に対応するICT活用フレイル予防サービスの開発と実践ーヘルスケアアプリ『脳にいいアプリ』によるエイジテック・PHRモデルー 演者:遠山 陽介(株式会社バスプラ代表取締役) ⑥周術期化学療法におけるQOL変化のデジタル評価と有害事象管理への応用 演者:小川 千晶(国立病院機構東京医療センター)
16:30-17:20	教育講演1 「リアルワールドデータに基づく地域医療需給の推計～新たな地域医療構想(2040年)に向けて～」 座長:丹野 清美(国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科講師) 演者:石川 ベンジャミン 光一(国際医療福祉大学 医学研究科 教授)	16:00-17:30	シンポジウム4 「デジタル医事法学」は必要か 座長:藤田 卓仙(公益財団法人 東京財団政策研究所 主席研究員) 演者:落合 孝文(一般社団法人日本医療ベンチャー協会理事) 稲谷 龍彦(京都大学 大学院法学研究科 教授)		
17:20-18:00	リアルワールドデータとともに広がる未来ーOHDSIから学ぶ 座長:阿久津 靖子(一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事) 演者:平松 達雄(国際医療福祉大学 医療情報部/未来研究支援センター 教授、医療データ連携分析基盤協会 代表理事)				
18:15-20:00	懇親会・交流会(場所:2階カフェテリア) 「デジタル医学会開催を讃じて」 特別出演 公益財団法人松山バレエ団によるクラシックバレエ				